

|             |                            |
|-------------|----------------------------|
| 近畿建設リサイクル表彰 | 奨 励 賞                      |
| 受 賞 者       | 鴻池組・ハンシン建設特定建設工事共同企業体      |
| 所 在 地       | 兵庫県 西宮市                    |
| 受 賞 テ ー マ   | 駅改良工事現場での工法工夫等による建設副産物発生抑制 |

【取組概要】

① 工法見直しによる汚泥発生の削減

軌道内に土留め杭を打設する場合、電車線などが施工の支障となり空頭制限が生じる。空頭制限内にて施工する工法として当初大口径ボーリングマシン削孔工法（BH杭工法）による土留め杭打設を考えていたが、削孔時に使用する安定液（ベントナイト含有）が汚泥として 530m<sup>3</sup> 発生するのを抑制するため、今回の施工では回転杭貫入工法に変更し、施工を行った。これは先端翼を取り付けた鋼管を低空頭杭打ち機で直接回転貫入するものであり、削孔時に安定液を使用しないため汚泥の発生量ゼロ、及び無排土工法のため大口径ボーリングマシン削孔工法で掘削した場合に発生が想定されていた残土処分量 310m<sup>3</sup> の削減を達成しました。

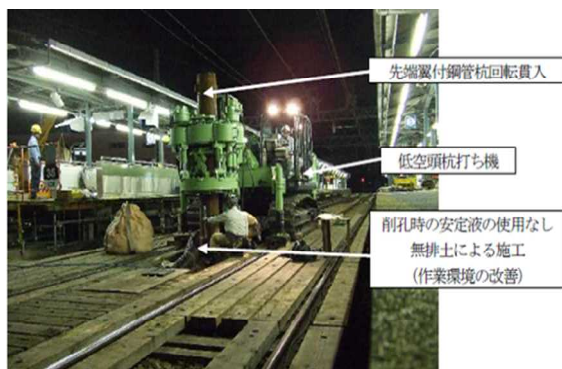
② 点字タイル（貼付タイプ）のリユース・リサイクル

通常、駅ホームに点字タイルを設置するには、プライマーを塗布した点字タイルを直接床面に貼り付けるため繰り返しの使用が出来なかった。当工事では既設ホーム面を仮設化し撤去復旧を繰り返す必要があったため、その都度点字タイルを取り外し再使用できるように点字タイル（再生樹脂製品、n=1300 枚）を薄鋼板（t=0.5mm）に貼り付けビス止めして繰り返し使用を行っています。また最終処分時には点字タイルと薄鋼板を分別し再資源化する計画です。

【評価】

工法見直しによる建設汚泥（530m<sup>3</sup>）・建設発生土生量（310m<sup>3</sup>）の削減を実施、また、点字ブロックを脱着できよう工夫してリユースを実施しているところが評価できる。

①工法見直しによる汚泥発生の削減



②点字タイル（貼付タイプ）のリユース

